

数え年

神社では、厄年の年齢などを数え年で表わします。現代では、誕生日に一歳、年齢を加える満年齢を用いていますが、わが国には古来、誕生日に関係なく正月に一歳、年齢を加える数え年の風習がありました。これは、正月が、年神さまを迎えてお祝いする大切な時季ですので、その時に合せて一歳ずつ年をとる数え年がふさわしいと考えられてきたからです。古くは、日本には零(0)の概念がなく、生まれた日から一歳で、新年を迎えると二歳になりました。神社では、日本の伝統的な考え方を継承していくことから、数え年を尊重しているのです。